



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2018/12/28にご同意いただいた方

【研究課題名】 PSI社との共同研究：メタボローム解析による、精神疾患バイオマーカーの開発

【研究責任者】 Dayan Goodenowe (Prodrome Sciences Inc.,)

【本研究の目的及び意義】

脳脊髄液または血液などの生体試料中の小分子を網羅的に解析することにより、診断や治療経過判定、治療反応予測などに用いる精神疾患バイオマーカーを開発することをめざす。網羅的解析にはPSI社の持つメタボロミクス・アプローチを用いることで、新たな候補分子を探索することが可能となる。

【本研究に提供する試料・情報】

血液、髄液

**本研究は研究期間を2028年3月31日までに延長いたしましたので
次頁の公告文書をご参照ください。**

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail : biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2010年5月1日から2018年1月31日にご同意いただいた方で
バイオバンクで「ナショナルセンター・バイオバンクの検体収集体制の構築」の研究にご参加され、精神疾患と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

PSI社との共同研究：メタボローム解析による、精神疾患バイオマーカーの開発（第二期）

【研究責任者】

服部 功太郎（国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部）

【本研究の目的及び意義】

採取させていただいた脳脊髄液または血液などに含まれる、多数の種類の物質を分析することによって、精神疾患の診断や、精神疾患の治療による効果の判定、あるいは治療が効くかどうかを予測するためなどに利用できるバイオマーカー（指標のこと）を発見することをめざします。Prodrome Sciences Inc (PSI) 社の持つ「メタボロミクス」という技術を用いることで、たくさんの物質を調べることができ、新しい候補の物質を探すことが可能になります。

※ なお、脳脊髄液や血液、あるいは情報は、個人情報（個人を特定できる情報）はひもづかない形で、米国にあるPSI社に送られます。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）、髄液
性別、年齢、診断名、家族歴、服薬情報、心理検査の結果、背景情報

【研究期間】

2023年8月22日 ～ 2028年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

Prodrome Sciences Inc.（米国）

2025年 1月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク
所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部
電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)